

住民の融和と地域で子どもを育てる取組みについて

津幡町条南公民館

はじめに

条南地区は津幡町の南部にあり、金沢市と隣接し、西側は河北潟干拓地に面した田園住宅地域です。

金沢市のベッドタウンとしての役割も担い、人口の増加により中条小学校のマンモス化を改善する為、平成10年に条南小学校が設立されました。また、中条公民館も対象住民が多過ぎることから、平成15年には条南小学校の敷地内に条南公民館が併設されました。



平成に入ってから地区の人口が著しく増加したものの、現在は落ち着いてきており、新旧の住民が入り混じった地域となっています。

条南公民館の利用者は、主に日中は在宅者や高齢者、夜間・休日には共働き・子育て世代と二極化しています。公民館としては、様々な活動を通して地域住民の繋がりを育みたいと考えています。

特色ある公民館活動

中条地区には、中条公民館と条南公民館があり、事業によって地区全体が対象のもの、各公民館エリアのものがあり、協力しながら、様々な事業を展開しています。

現在、条南公民館は、「様々な学習を通して、仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図り、子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に利用できるコミュニティづくり」を目指しています。

その中から、「サークル発表会」と「放課後子ども教室」を紹介し、

サークル発表会

サークル発表会のねらい

サークル発表会は、中条・条南公民館で活動している公民館サークルが主体となり、毎年一回、9月下旬に、津幡町文化会館「シグナス」で開催しています。

地域の皆様に、日頃のサークル活動の成果を発表する場であり、同じ公民館を利用していても交流のないサークル同士がお互いを知る機会でもあります。また、普段から公民館を利用したことのない方々にもサークル活動を知って頂けるので会員にとってはよい刺激となっています。

公民館もサークル活動を後押ししてきましたが、近年、少子高齢化に伴いメンバーは減少傾向にあります。

そのような中で、サークル活動に対する理解を地域の方に深めてもらい、それぞれのサークル活動の充実・発展をさせていきたいと思っています。さらに、地域の方々に新たなサークルの結成を促し、活動してほしいという期待を込め、発表会を行っています。



サークル発表会の内容
 発表会を迎えるまでに、サークルの会員の皆さんは発表の準備に追われます。発表日までは日々練習を重ねるだけでなく、より多くの地区の方に来場してもらえらるよう、サークルの会員が自らポスター掲示するために、地域を回ったり、整理券を様々な団体に配布したりしています。

当日の出演サークルは、民謡、三味線、太鼓、カラオケ、マンドリン、合唱、子どもダンス等で、様々な演目が並びます。和やかな雰囲気の中で、日頃の練習の成果を発揮し、それぞれの楽器を演奏したり、ヒップ・ホップや演歌の曲に合わせた踊りを披露したりしています。

サークル発表会の効果

サークル会員の皆さんにとっては、発表会があることで日頃の活動が充実し、他のサークルの発表を見ることによって理解を深め、つながりを持てる良い機会になっています。また、一つの同じ目標に向かって活動することによって、お互いの団結力も生まれています。

サークル発表会の今後の目標

楽しく精力的に活動しているサークルの会員ですが、各サークルの会員数の増加はまだ見られないままです。また、地域から新たなサークルも結成できていないのが現状です。新旧住民の垣根を越えて、魅力あるサークルを作っていくことが今後の課題となっています。



〈放課後子ども教室〉

放課後子ども教室のねらい

小学1年生から6年生を対象に、友達作りや居場所の確保のため設けられた放課後子ども教室です。条南公民館では、地域の力を借りて子どもたちの居場所づくり、ものづくりを通じて試行錯誤をする創造性、遊び・ニュースポーツを通じて社会性を育む等、様々な取り組みをしています。



放課後子ども教室の内容

条南小学校区の放課後子ども教室は、一年を通して月2回程度実施しています。運営は地域の方が中心となり、食農体験、工作教室、ニュースポーツなど様々な体験活動を行っています。

食農体験としては、公民館横の地域の方の畑をお借りし、じゃがいもの植え付けと収穫をしています。植え付けは、地域の農家さんにご指導を頂いています。子どもたちは収穫した作物を使って、お菓子作りをします。これらを通じて、食と農業についてのつながりを学習します。



工作教室では、津幡町にある石川工業高等専門学校の協力を得て、科学教室を行っています。平成二十九年度は池上先生から空気について学び、空気砲とブーメランを作りました。

エコを学ぶ観点から廃材利用工作教室も行っています。石川県災害ボランティア協会の方々に講師に迎えて、災害時での活用のため身近にある新聞紙で簡易スリッパを製作しました。また、家庭で出る廃油の活用法としてキャンドルを製作しました。

放課後子ども教室の効果

新学期になり、始めは馴染めない子どもたちも次第に仲良くなっていく過程が見えます。地域の農家の方や運営に携わっている地域の方々にも親しみを感じ、子どもたちも楽しく活動しています。

学校や家庭とは違った体験をすることで、自ら考えたり、話しかけたりすることで自発性も芽生えています。

異なった学年の子どもたちが同じ時間帯に工作をすることで、周りの作品を鑑賞してお互いの感性を刺激し合います。見比べることで、自分の作品をもっとよくした



いと思いつく試行錯誤をしながら、思い思いに仕上げられています。

放課後子ども教室の今後の目標

公民館としては、運営に関わって頂いている地域の方の輪を広げていきたいです。また、地域には、様々なスキルをもっている方が住んでおられるので、子どもたちの先生になって頂けるようにご協力をお願いしていきたいです。

子どもたちにとって、色々な体験ができる安心安全な居場所、学習する場所として身近な公民館であればと思います。

まとめと課題

公民館としては、まだ歴史が浅いですが、地域の高齢者から児童までの多世代、また、新旧の住民など様々な方々がいる中で、垣根のない気軽に利用できるコミュニティを作っていきたいです。今後も、「いつでも・だれでも・どこでも」学習でき、成果を生かすことのできる公民館であり続けたいと思っています。